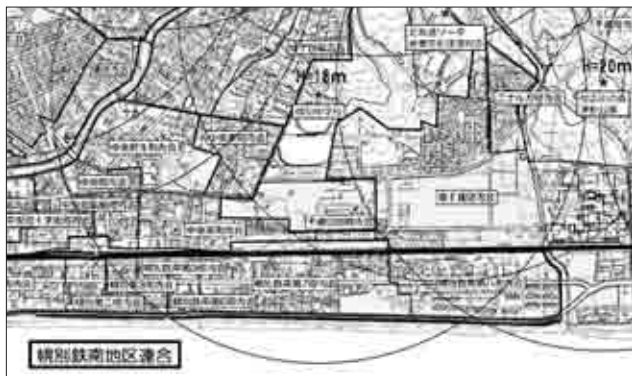


これからの市の取り組み

『大津波における高台の避難場所』の決定

調査や検証を経て、各町内会などから出された『大津波における高台の避難場所』に対する意見について、『震災対応市民連絡会議』で検討し、正式に『大津波における高台の避難場所』を決定します。その決定に基づいた高台の図面は、作成次第市民の皆さんに配布します。



▲各町内会が調査や検証で使用している登別市一帯の図面の一部

8月21日に全市でサイレン吹鳴訓練を実施

3月11日の大津波警報発表時、市は皆さんに避難指示のサイレンを吹鳴しましたが、後日「音声聞き取れなかった」「サイレンの音の種類がわからなかった」など、避難指示やサイレンの聞こえ方について多くの意見が寄せられました。

このため市は、サイレン吹鳴訓練を行い、大津波警報の場合のサイレン音・音声を市民の皆さんに知っていただくとともに、どのように聞こえるか、聞き取りにくい場所はどこかなどの検証を行うこととしましたので、ご協力をお願いします。

▼日時 8月21日(日) 9時20分からサイレンが鳴ります(8時50分から、サイレン遠隔吹鳴装置で訓練実施のお知らせを繰り返し行います)

▼内容 大津波警報が発表され、市が避難指示を発令することを想定したサイレンの吹鳴訓練



▲サイレン遠隔吹鳴装置

災害時はサイレンを吹鳴します

災害が発生したとき、または発生する恐れがあるときは、市内42カ所に設置しているサイレン遠隔吹鳴装置から、サイレンや音声で避難の情報をお知らせします。

なお、豪雨のときなどは、サイレンが聞こえないことも想定されますので、サイレンのほかに広報車などで情報をお知らせします。

サイレンの種類・吹鳴する状況 (〇 は8月21日の吹鳴訓練で実施するもの)

種類	吹鳴する状況
火災信号	3秒鳴らして2秒休みを6回 火災が発生している場所の近隣のサイレンを吹鳴
津波信号	3秒鳴らして2秒休みを6回 大津波警報が発表されたとき
	5秒鳴らして6秒休みを5回 津波警報が発表されたとき
水防信号	60秒鳴らして5秒休みを3回 避難勧告を発令したとき
召集信号	15秒鳴らして6秒休みを4回 消防職員・団員を召集するとき

地域での取り組み

富浦町会

6月15日(水)、富浦町会で、市が作成した『大津波における高台の避難場所』の候補地について、意見交換が行われました。

参加者は、候補地以外の高台避難場所の選定や迅速な避難方法、避難するまでの所要時間など、震災当日を思い出しながら、活発な議論を展開していました。



幌別鉄南地区連合町内会

6月18日(土)、幌別鉄南地区連合町内会で、大津波警報の発表を想定した避難訓練が行われました。

約90人の参加者は、避難場所に設定した幌別中学校を目指して各町内会で決めた避難経路を歩き、所要時間などを確認。避難場所までの歩行が困難な方をリヤカーに乗せるなど、本番さながらの訓練で防災意識を高めました。



このように、各町内会や地域でも防災対策が進められています。